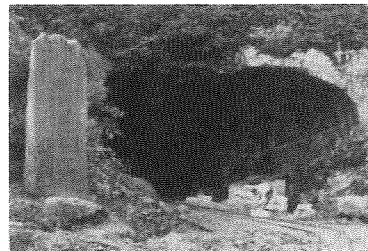


- 1876年(明治9年) 山形県令(三島通庸)の発令によって着工
- 1881年(明治14年) 開通式に参加した明治天皇によって万世大路と命名をうける
- 1899年(明治32年) 並行する板谷峠に奥羽本線が開通
- 1933年(昭和8年) 自動車交通に対応するため大規模な改修工事を行う
- 1936年(昭和11年) 改修工事完了
- 1952年(昭和27年) 一級国道13号に指定される
- 1966年(昭和41年) 国道13号の一時改良工事で現道が開通

### 栗子峠の変遷

#### 第一世代 旧々道

明治14年に開通した「万世大路」の栗子隧道(延長約870m)は、日本初の長大トンネルで、ほぼ山頂に近い標高880mのところを通過しました。



初代栗子隧道

# 萬世の大路

第11号

平成24年3月1日発行

発行者

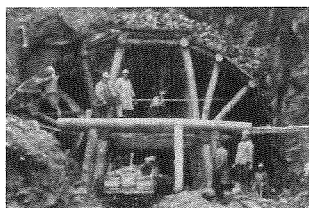
歴史の道万世大路・万歳の松保存会  
会長 田畑 實

事務局

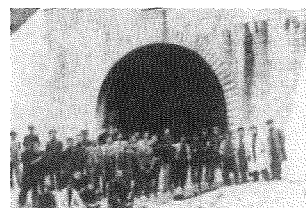
万世コミュニティセンター  
☎0238-28-5381

#### 第二世代

昭和の時代に入り、人馬交通から車が通れる道に改築され、昭和12年に完成しました。これらのルートは、冬は3mを越す積雪。夏は霧の発生等厳しい気象の中での通行でありました。



昭和の改修工事



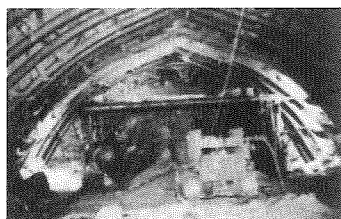
二代目栗子隧道

#### 旧道

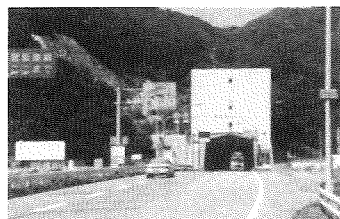
#### 第三世代

#### 現道

昭和30年に入り、国内の経済発展に伴い進展した自動車交通に対応できるよう、ルートの見直しを行い現在の西栗子トンネルと東栗子トンネルによる国道13号のルートに変更しました。昭和41年に完成し、現道として利用されています。



当時の施工状況

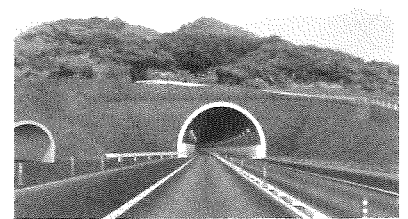


三代目栗子トンネル(西栗子トンネル)

#### 第四世代

#### 東北中央自動車道

今回計画している東北中央自動車道栗子トンネルは、万世大路の直下を約9kmの延長で通過する計画です。現在の国道13号の両トンネルに比べ坑口標高を約180m下げることにより、「より信頼性の高い・雪に強い」道路を目指しています。



栗子トンネル完成イメージ

出典先:「栗子トンネル工事誌1968」東北地方建設局福島工事事務所